2026　年度 授業計画(シラバス)

| 学　科 | 医療福祉総合学科 | | 科目区分 | 基礎分野 | 授業の方法 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 地域活動演習 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30　(1)　時間(単位) |
| 対象学年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 通年 | 教室名 | 601室・他 |
| 担当教員 | 山本雅美　山田琢伸 | 実務経験とその関連資格 | | | | |

《授業科目における学習内容》

介護福祉における基礎的な実践力を有する人材を育成し、人間の尊厳や人権を尊重する態度など、対人援助職の基本的な態度を養うことができる。

《成績評価の方法と基準》

授業内提出物(70%)、出席状況(20%)、授業態度(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要な書籍を利用する。

《授業外における学習方法》

利用者とのかかわりを見学、あるいは指導者の近接の指導の下で交流を行うことにより、様々な施設における福祉としての関わり方や役割を学び、地域における施設独自の特徴や役割を学ぶ。

《履修に当たっての留意点》

マナー、言葉使い、身だしなみ等、意識をしていく。

| 授業の方法 | | 内容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | オリエンテーション | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 授業の目的や流れについての説明 | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | オリエンテーション | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 社会福祉協議会の方からボランティア活動についての説明を受ける | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域の身近な問題について考える② | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 自分が見つけた課題について、どのような取り組みを行っているか、どのような取り組みが必要と考えるか。 | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域の身近な問題について考える③ | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 地域にはどのような組織・活動があるのか(町内会,NPO等) | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域の身近な問題について考える④ | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 地域にはどのような問題を抱えた人が生活しているのか。 | | |

| 授業の方法 | | 内　　容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第6回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域の身近な問題について考える⑤ | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | グループでテーマを決め、身近な地域社会における課題について考える。 | | |
| 第7回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域社会の理解① | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | グループで捉えた課題について、どのような取り組みや対策が必要かまとめる。 | | |
| 第8回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域の理解② | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | グループで捉えた課題について、どのような取り組みや対策が必要かまとめる。 | | |
| 第9回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域の理解③ | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | グループでまとめたものを発表する。発表に対して質疑応答や意見を出し、理解を深める。 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ボランティア活動の意義 | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | ボランティア活動の意義、目的、対人援助職としての接遇とマナーについて学ぶ。 | | |
| 第11回 | 演習実習形式 | 授業を通じての到達目標 | ボランティア活動の実際 | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 対人援助職として社会で必要とされるコミュニケーション力や基本的な接遇・マナーを習得する。 | | |
| 第12回 | 演習実習形式 | 授業を通じての到達目標 | ボランティア活動の実際 | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 対人援助職として社会で必要とされるコミュニケーション力や基本的な接遇・マナーを習得する。 | | |
| 第13回 | 演習実習形式 | 授業を通じての到達目標 | ボランティア活動の実際 | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 対人援助職として社会で必要とされるコミュニケーション力や基本的な接遇・マナーを習得する。 | | |
| 第14回 | 演習実習形式 | 授業を通じての到達目標 | ボランティア活動の実際 | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 対人援助職として社会で必要とされるコミュニケーション力や基本的な接遇・マナーを習得する。 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 授業の振り返りとまとめ | 文献・新聞等 | 各回、授業前後の内容や課題について、文献や新聞で情報を収集しておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 全体の振り返り（レポート作成） | | |